

昭和54年1月1日
 広報あす 毎月5日発行
 山口県吉敷郡阿知須町
 発行 阿知須町役場
 電話 4111番(☎)・千754-12
 印刷 阿知須砂郷 よしの印刷

広報

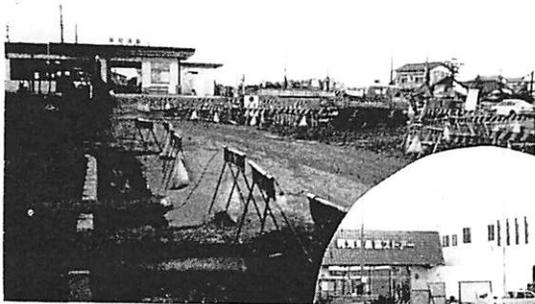
あす

№.325

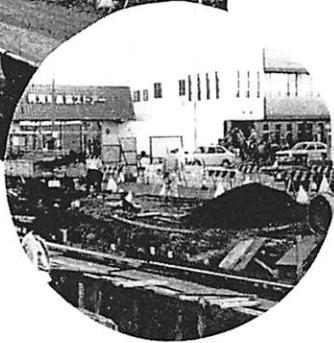
町の住民登録人口
 (53年12月28日現在) 前月比
 世帯 2,173世帯 +2
 人口 8,273人 -7
 (男3,907人 女4,366人)
 (国勢調査 昭和50年10月1日)
 世帯 2,113世帯
 人口 8,137人
 男3,771人 女4,366人

昭和54年元旦

あけましておめでとうございます



↑ 都市計画街路事業
 駅通り線(駅前広場)
 工事費 21,836,000円



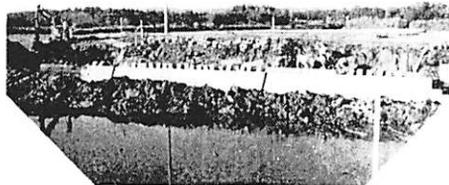
↑ 参宮線道路改良工事
 沖の原から巨西方面望む
 工事費 二八、六〇〇、〇〇〇円



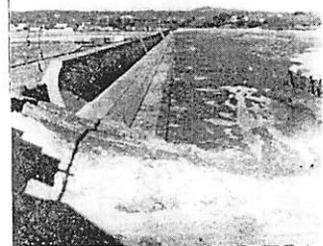
↑ 仙在集会所新築工事
 工事費一四、八〇〇、〇〇〇円



↑ 都市計画街路事業
 縦貫工事(飛石)
 工事費 13,769,000円



↑ 岩倉新堤改修工事
 工事費 5,900,000円



↑ 周防河川高潮対策事業
 (県が実施)

あすの町勢発展の建設譜

調和のとれた町づくり 今年 中央公民館建設に着手 町長 中尾 岩雄



民二一を町民参加の中で適格にとらえ、相手を立て、心豊かな町づくりに全力を傾ける決意であります。

町民の皆さん、新年おめでとうございます。昭和五十四年の新春を迎え、皆さまの幸せな新年でありますよう心からお祈り申し上げます。わが町の経済情勢は依然としてきびしい環境の下にあり、町財政も引続き深刻な状態が続くものと予測されます。この不況の年を乗り切るには非常に困難が伴うことは今さら申すこともありません。私は、公共施設の拡大、住居需要の拡大、経営経費の節減などに全力をあげてこの難局打開に努力してゆく所存であります。

おかげをもちまして、昨年当初計画いたしました諸事業も着実に完成する事ができました。これは、町民各位のご協力、支援の賜ものと感謝申し上げます。

申し上げるまでもなく私達の社会は人間の喜びを生きる生活の場であり人間の豊かさを高める生活の場であり、人間の安否を深める休みの場でもあります。私はこれまでにの進歩の上で町民の幸福の福祉につながる事業を最優先して行政を積極的に進めてゆきたいと考えております。

それは、人が集い、語り学び、憩い、運動し、文化を創造するさまざまな活動が、日常生活の中に行はれ、生活の一部で行なわれる「場」として、今年三月までに完成する仙在集会所、地区公民館建設の年次計画をもち、推進することが住民の地域的な交流、連帯感を高め、コミュニケーションの輪が広がることを目指します。

また、町民の願いであった中央公民館を新年度年度二年計画で建設を予定しています。町民の福祉向上は、行政のみならず、住民の自治意識の中から盛り上げる力にまさることが極めて大きいといわれなければなりません。

私は町民の皆さんと力を合せて進んでまいります。低所得者層の生活の場、健康増進を維持する場、町民の心を育て、調和のとれた清新な行政の実現を本理念として、ゆるぎなき町民文化教育の充実、福祉向上、産業の振興をはかり、また多様化する住

民二一を町民参加の中で適格にとらえ、相手を立て、心豊かな町づくりに全力を傾ける決意であります。

建設事業面におきましては、阿知須小学校の校舎増築も新年度までに完成を予定しております。昨年、新集会所の完成を町内の都市計画街路事業による駅前広場と周辺の道路の新設、排水路の改良工事とも二月までに整備いたします。本町の玄関としての表いも新たに

駅通り線においても四億八千万円の事業費をもって駅前の移転を中心に順次拡充を計画しています。縦貫線(千石・飛石)国道にも着手し一歩完成を、さらに継続事業として進んでいます。

また、農村総合モテル事業も今年で六年を迎え、新年度は一億五千万円で農道、農業排水路、集落排水路などを整備を進め、行所存です。

一方、国庫補助事業による、参宮線は千万円の事業費を上し舗装などを計画。その他の道路関係や単独事業も随時整備しています。

町民生活に密着する環境衛生面についても重点的に取り組む計画であります。

また下水道計画については、宇部市の東部地区を含めての広域的、総合的な本計画により推進することです。

二十一世紀への礎として、町民の暮らしを築くため町民と力を合せて進んでまいります。町民の心を育て、調和のとれた町づくりを進めてまいります。どうか町民のみなさんご協力をお願いし、新年のごあいさついたします。

